

中央会今昔物語 ~その参~

「中央会今昔物語」に対して賛否両論がある中、第参話へと突入するのであるが、広報委員会の内部でも「あえて火中の栗を拾うようなまねはしなくてもよいのでは」と物議をかもしだしているのも事実である。しかしながら「骨は捨ててやるぞ」の心強いというよりも無責任としか思えない発言をよりどころに、どうせなら究極の酒ネタを徹底取材。「伝説の宴会」を知ることにより節度ある酒席の姿とは何かを考える上での材料にしていれば幸いである。

第参話「菊の花で御先祖供養」

時は年号が昭和から平成に代わって間もない頃、例年どおり各委員会の打ち上げがあちこちで行われていた。当時最強?とされていたある委員会が選んだ場所は県境を超えた半島沿いの民宿であった。今や思慮分別のあるOBであったり会の重鎮であったりする方々も、当時は血気盛んな中堅や入会して間もない会員。とかく盛り上がるの場所を求めていたのは今と変わらない。「一年間ご苦労様でした。それでは乾杯します。」フツと溜息を漏らす委員長、「乾杯」どこかしら皆の声に元気がない。「おビールつぎましようか。」につこり微笑む口元からこぼれる金歯、コテコテに塗りたくった化粧は普段の日焼けを隠すには無駄としか思えない。誰かが言った。「足でビールついでもらったのは初めてだわ。」それもそのはず全指がみな親指としか見えない太さと短さのそれは、職人のものと同類。聞いてみれば皆漁師さんの奥方、現在のヤマンバギャルが進化の最終型とすればまさにその原型。国の絶滅種に登録したくなるようなヤマンバがコンパニオンとは青息吐息になるのも無理はない。唯一の救いはやんごとなき会の要職におられたK氏がオブザーバーとして同伴した方がヤマンバ軍団とは対照的だったことだろうか。当然、追いつがるヤマンバを振りほどきながらそのおねいちゃんに群がる。追う者と追われる者を交互に演じながら宴会は異様な盛り上がりを見せ始めた。「おばちゃん。ヘネシーがないの?」なさそうなのがわかっていて困らせようとする。しかしやつらは一枚上手である。おとうちゃんが組合かなにかの親睦旅行で「国内に持ち込める洋酒は3本までですよ。」とか何とかいわれて、損してはならぬと錯覚して買ったであろうヘネシーが期待はずれの如く登場し、御会計を心配するはめに。後はもうヤケクソ。「アチョー」奇声を発しながら障子を破るならいざしらず棧まで折ってしまう者。仏間に入って般若信教を唱え鐘をチンチンチン鳴らし、御供え物のバナナを盗って食う者。オブザーバーのおねいちゃんがトイレに立てば皆がぞろぞろ後を付いて行き、「大丈夫かや。ええぐあいで~かや。」と余計な御世話を言ったり、便所の戸に聞き耳をたてたり覗こうとしたり銀蠅状態。「おばちゃんチップや~がな。」と誰の物ともわからぬ札をばらまく者。とどめは「御先祖様に失礼だ!これより供養を行う。」と言い出し、仏壇にお供えしてあった菊を一輪拝借し、人間の体に同様の呼称がある場所へ突き刺し「菊の共食いここにあり。」と踊り出す者。これにはヤマンバおおうけ。とうとうオブザーバーのおねいちゃんの身の危険を感じ取ったK氏は泊まる予定を返上、二人タクシーで帰ってしまった。

翌朝、梅雨の晴れ間からのぞく太陽が黄色いボンボンキャンディーにしか見えない脳みその面々は二日酔いに悩まされながら交わされた会話は、「俺の俺の俺のサイフの中身がない~!」青ざめるU氏。「Yさん昨日お礼ばらまいていたのはそのサイフじゃない?」質問に口籠るY氏。「ヘネシーなんぼついとった?」「なんと2千円だったわ。めっちゃラッキー」充実・焦燥・錯乱・困惑、様々な人間模様が続りひろげられたのであった。

ちなみに翌年よりその民宿の障子の棧はアルミ製に、ヘネシーの値段は1万円となったそうである。みなさまのお越しを心よりお待ち申し上げているとのことらしい。

聞いてごしない Part 13

仕事で各地へ出張すると、仕事以外のオフタイムは土地の料理を肴に地酒を味わい、土地の人(女性?)との会話を楽しみにしている。北は稚内、うに料理とたらばがにを南は那覇で、ゴーヤチャンプル、アングチャンプルそれに泡盛を味わった事があるが、先日九州一周の出張に出かけた。米子からJRで福岡へ行き唐津で宿泊をした。唐津は唐津城を中心とした城下町でこじんまりとした町である。ここでは活いかとあじの刺身で一杯やった後、土地の人と膝を交えた交流を楽しんだ。

翌日は長崎で宿泊、かんぱちといかごの刺身、それにたいのあら煮を味わった。長崎から熊本へ行き、馬刺しとからしれんこん、それにうなぎのせいろ蒸しを食べた。私はからしれんこんが好きで、よく土産に買って帰るが、家族はだれも食べない。熊本の歓楽街は福岡ほどではないが結構にぎやかで、屋台では濃厚スープの熊本ラーメンと、もつ鍋を食べさせる。鹿児島では駅でさつま揚げとビールを買って車内で遅い昼食をとった。宮崎に着くと夜になっており、ホテルでチェックインを済ませて近くの小料理屋へ出かけた。地鶏の焼き鳥とにんにく貝の塩煮を肴に焼酎の炭酸割りを飲んだ。翌日、朝食後に旅行業の胃薬を服用した。

最近、強行軍ではいつも胃薬のお世話になる。商談後にシーガイアに案内された。シーガイアは宮崎県の第三セクターで経営しており、本年度決算は38億円の赤字で毎年赤字を更新しているとの事、鳥取県も同じ轍を踏まなければいけないかと思いつつも、今度は家族旅行で来てみたいと考えて、シーガイアを後に宮崎空港から帰路に着いた。

各地には料理や物産にこだわりを持ったものが必ずあり、スーパーマーケットの棚に並ぶ、安価だが原材料は輸入の加工品とは一線を画す。インターネットの買い物が市民権を得て来ている昨今、各地のこだわりうまいものと地酒を取り寄せて、家で一杯やったほうが家庭円満だと思いつつ、付き合いたと言いつつ朝日町へ出かけて行くのは、中央会会員だけじゃなく、どこの親父も同じだろうなあ。

(境ブランド太郎)

コピーをして名簿にお貼り下さい

(総務)		なか もと たか お	O型
		中本高夫	(株)ラポールエステート 代表取締役
		宅地建物取引業(不動産)	
		T 683-0853 米子市南三柳3863-10	
		TEL 29-6966 FAX 29-6976	
		(KT) (EM)	
		(自宅) 米子市尾高1121-1	
		T 689-3514 S 35.4.2 TEL 27-4571	

【コメント】はじめまして。この度入会させて頂くことになりました。中本高夫でございます。現在、不動産業を営んでおります。まさに弊社のような中小企業が活性化し、発展飛躍する事を目的として活動している青年中央会が、私の入会すべき組織と考えました。そして今後は、先輩のご指導を仰ぎながら、少しでも地域経済、地域社会に貢献したく考えます。よろしくお願ひ申し上げます。

5月例会案内

とき 平成12年5月15日(月) 18:30~
ところ ホテルサンルート米子
講師 JOY FOOTよなご代表者 塚野真樹氏
演題 スポーツとは何か ~NPO法の可能性~
担当 ビジネス委員会

5月役員会報告

5月定例役員会が平成12年5月1日(月)、米子食品会館に於て開催された。当日の主な議題は、次の通りです。
(1) 5月例会(臨時総会)、6月例会開催の件
(2) 収支見込みの件
(3) その他
※尚、詳細については、委員長までご照会下さい。

編集後記

もうすぐゴールデンウィーク、今年は例年より長い休みを取る企業が多い様だ。去年はオープンしたばかりの花回廊に人が集まったが、今年は皆何処へ出かけるのだろう。人の多い所には行きたくないなあと思うが、たまの連休、やはり家族サービスはしないとイケないし、1日ぐらいはゴルフにも行きたいなあと思う。今年度も後2ヵ月、気持ちも十分にフレッシュしてまた頑張ろう。

Handsome

発行人: 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 堀田収 編集責任者 小林慎一 印刷所 東京印刷所

4月レクリエーション例会 25周年記念大運動会



4月16日(日)航空自衛隊美保基地北グラウンドにて4月レクリエーション例会が開催され、会員とその家族約200名が参加し各種の競技をして一日楽しく過ごした。当日は前日から明け方まで降った雨も上がり、気温はやや肌寒かったが、晴れ間の広がったまますの運動会日より開会の挨拶があり、審判長の浜田副会長より本日の意気込みを述べられ、その後準備運動をして始まった。

競技は副会長チーム対抗戦で行われ、それぞれの競技の順位を争った。最初の競技は玉入れ、各チーム僅差での勝敗に悔しがることしきりだった。子供の参加できる競技も多数あり、60m走では元気いっぱい走る子供たちが参加賞がもらえて喜んでいた。障害物競争に続いて中央会一の女装美人を競うオカマちゃんリレーが行われた。各チーム4名でリレーをし、下の締まったスカートを履いてそれを

バトンタッチして行くのだが、途中洗面器の水で顔を洗い、粉の中の飴をほうばり口紅を塗り化粧をした顔で小走りする姿が突におかしく周りから笑いを誘った。綱引きはトーナメント方式で勝ち抜いたチームが優勝となるのだが、優勝決勝戦では連戦

でバテ気味の浜田副会長チームから安部副会長チームが接戦を勝ち取った。昼休憩の間に今年度卒会の植田、河端、長谷川会員のお菓子なおちゃんが登場して子供たちからお菓子を求められて揉みくちゃにされていた。

午後からは母と子でドッチボールが行われ、ゲームに熱くなるお母さん方の奮闘振りが見られた。バスケットリレーに続いて、午前中に行われた予選を勝ち上がった6人で中央会スプリント王決定戦の決勝があった。見事1位に輝いた中島(正)会員が表彰式で、金メダルを授与された。2位が茅野会員、3位は安部副会長で未だその健脚は健在と云うところを見せられた。借り物競走は、子供の捜し求める物を大人が必死で探し大いに盛り上がった。いよいよ最後の競技は団体優勝のかかったチーム対抗リレー、アンカーは副会長で最初からリードを保った小林副会長チームがそのまま逃げ切り、逆転で団体優勝を飾った。

閉会式では優勝チームへ堀田会長よりトロフィーと賞状が授与され、個人賞として副会長賞、直前会長賞、そして栄えある会長賞には借り物競走での活躍が評価された種会員が受賞した。最後に安部副会長よりこれからは親睦と友愛を深め次年度へ継いで行きましようとの謝辞にて閉会となった。

結果は以下の通り

- 1位 小林副会長チーム 2位 門脇副会長チーム 3位 浜田副会長チーム
- 4位 奥森副会長チーム 5位 安部副会長チーム

最後に例会の準備から進行と大変なご苦労をされた総務委員会、政治行政委員会の方々には本当にお世話になりました。また、会場をお貸し頂いた航空自衛隊美保基地様に厚くお礼申し上げます。





去る3月29日(水)鳥取県西部青年経済団体連絡協議会(青経連)の親睦事業としてゴルフコンペが、総勢23名参加の下、グリーンパーク大山ゴルフ倶楽部で行われた。

この日はあいにくの天候ではあったが、会員の奮闘もあり、団体優勝及び個人優勝も当会が獲得した。

この日、境港青年会議所の吉浦丈太さんが、見事、4番ホールでホールインワンを出され、特別賞獲得するなど、盛り上がった親睦事業となった。

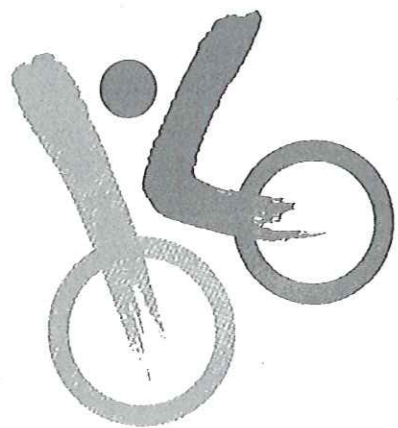
成績は以下の通りです。

青経連ゴルフコンペ成績表

優勝 北野 実 (中央会)	ニアピン 7番 堀田 収 (中央会)	団体賞	優勝 西部青年中央会 300
2位 廣江 智 (米子JC)	ニアピン 13番 北野 実 (中央会)	2位 商工会議所青年部 317.2	2位 米子青年会議所 325
3位 山本良文 (中央会)	ドラコン 8番 吉浦丈太 (境JC)	3位 米子青年会議所 325	4位 境港青年会議所 358.8
	ドラコン 15番 坂口元昭 (米子JC)	4位 境港青年会議所 358.8	ベスト 山本良文 (中央会)
飛び賞		特別賞	
5位 吉浦丈太 (境JC)		ホールインワン賞 吉浦丈太 (境JC)	
10位 堀田 収 (中央会)			
15位 釜田公文 (中央会)			
20位 高尾佳孝 (境JC)			
BB賞 坂口元昭 (米子JC)			
BM賞 中田耕治 (境JC)			

第20回全日本トライアスロン皆生大会

第20回全日本トライアスロン皆生大会が、7月23日に開催される。昨秋より実行委員会が稼働し、今年は記念大会とあって様々な記念行事が企画されている。



KAIKE TRIATHLON

募集定員も750名となり、それに伴いバイクコースの変更を余儀なくされ、今回は、日野川土手下から旧日野橋を通り、古豊千方面へ。岸本、赤碕でも若干の変更がある模様。マラソンコースで日吉津村内を走り、境港の折返し地点が竜ヶ山競技場となった。

5月連休明けにはマラソン部・ボランティア部ともに、AS提供事業所や団体ボランティアへの挨拶回り等の活動に入る。

選手諸兄にはもう選考結果が届いている頃だろう。鉄人たちに熱き声援を!

1. 鉄人同窓会の開催

昭和56年に皆生で開催した国内初のトライアスロンに出場した53名の選手の同窓会を開き、当時の思い出や、その後の人生とトライアスロンとの関わりなどについて語ってもらう。

2. 高石ともやコンサート

皆生大会の初代チャンピオンで、育ての親であるシンガーソングライターの高石ともや氏をゲストに招いてコンサートを開催する。

3. 記念誌の製作

日本のトライアスロン界をリードしてきた皆生大会の20年の足跡をまとめた記念誌を発行する。

4. 記念式典での特別表彰

皆生大会を陰で支えた団体・個人の特別表彰や大会当日にはボランティアコンテスト等を行う。

4月度委員会報告

マネージメント委員会

平成12年4月6日(木) 於:米子食品会館 出席者/9名
内容/ 今回は、ビジネス委員会と合同委員会ということで奥森副会長のお兄さん、新和産業(株)社長 奥森清氏を講師に迎え、ISO取得の苦労話、ISOのメリット・デメリット、会社としての信用を高める、経営の羅針盤、社員の変化などを熱く語って頂いた。

ビジネス委員会

平成12年4月6日(木) 於:米子食品会館 出席者/9名
内容/ 今回は、マネージメント委員会と合同のもと新和産業(株)代表取締役 奥森清氏を講師に迎え開催した。同社の歩み、ISO取得への取組、人の出会いとビジネスチャンスについて等、多岐にわたるお話を聞き感銘するものが多く、実に有意義な時間であった。その後、2次会でも酒を酌み交わしながら熱い討論が続いた。

政治行政委員会

平成12年4月5日(水) 於:米子食品会館 出席者/13名
内容/ 4月16日のレクリエーション例会の打合せを総務委員会と合同委員会にて行った。

げんこつ委員会

平成12年4月12日(水) 於:米子食品会館 出席者/9名
内容/ ・講師:鳥取県議会議員 湯原 俊二氏
・講義:『21世紀鳥取県教育ビジョン(中間まとめ)』
『平成12年度における少子化対策関連の主な事業』等について
・趣旨:保護者をはじめ、鳥取県に暮らすすべての大人が、それぞれの立場で子供たちの教育に参画していかなければならない。
・次回例会:「げんこつ委員会の本年度のまとめ(案)」について次回、各委員がまとめ(案)をもつて上がる。

地域ビジョン委員会

平成12年4月13日(木) 於:ホールサムイんかい 出席者/10名
内容/ ・レクリエーション例会について
・委員会のまとめについて
・会員タイム
内田会員-業界の動向 出張体験談として、四国4県の特徴
加藤会員-自社の現状 懸賞生活体験談

21 地球委員会

平成12年4月5日(水) 於:大連 出席者/9名
内容/ 我々の最終課題であるケナフの種及び会員向け資料づくりもいよいよ大詰め、5月の役員会には配布できるように準備も整った。
西部青年中央会のHPに情報を発信する事も最終段階まで来ており、全員で意見を交換した。

2020 グランドデザイン委員会

平成12年4月13日(木) 於:東亜青果(株)会議室 出席者/8名
内容/ 先ずリクリエーション例会に於ける各自の役割分担の確認を行なった。
次に、前田委員長の人生企画を披露していただいた。最後に「魅力ある中央会」の提言内容について討論したが、各会員より積極的な意見が多数、発言され紛糾した。11時前、一応の方向性を見出し、次回に再度の協議を行なうという事で一応の幕を引いたのである。

広報委員会

平成12年4月3日(月) 於:米子食品会館 出席者/17名
内容/ ・6月例会案の検討
・委員会報告書と卒会寄稿文集の担当者決め
最後に「企業紹介タイム」と題し、ひとりにつき3分程度の自社アピールの時間を設けた。
☆中島会員(温泉旅館):パート従業員の積極的雇用により生き残りをはかっている。入湯税の見地からも市政が観光に消極的なのは矛盾している。
☆植田会員(人材派遣業):少額資本での立ち上げが可能。派遣業務以外にもう一本の柱を考えている。
☆高村会員(建築設計・監理):大型プロジェクトの設計コンペは大手設計事務所とのJVでやる場合が多い。ただし、個人向け住宅も手掛けている。
☆畠山会員(業務用食品卸・加工):チルド、フレッシュといった流通技術の向上は、即ち食材の味の向上につながっている。店、消費者双方にとってプラスになるようなコスト削減をはかっている。
小林副会長の発案によってこの企画は実現したわけであるが、プレゼンの重要性和その能力の向上をはかる必要性をあらためて感じた。

総務委員会

平成12年4月5日(水) 於:米子食品会館 出席者/16名
内容/ ・4月レクリエーション例会打ち合せ
運動会当日の担当最終確認
前日準備について etc



前田委員長 結婚披露パーティー顛末記

去る3月14日、「海王」において中央会有志21名、新婦側より9名の出席で、当2020グランドデザイン委員会前田委員長、静香さんの結婚披露パーティーを催した。

新婦の職業が看護婦であり同僚が多数参加されるということで、男性陣は早くもボルテージが上がりっぱなし。受付で渡された名札を付けた姿は、今はやりの結婚相談センターのお見合い会場さながらの雰囲気、もはや誰のためのパーティーか忘れ去られた様子。

まず、堀田会長の挨拶で始まり、宮廻直前、新婦友人による花束贈呈。小林副会長によるお二人の現在までの歩みの披露、武海会員の性格占い、そして出席者全員による祝辞ならびに自己紹介(この時、男性陣の視線は新婦側の友人に注がれていたのは言うまでもない)など、とても楽しいひとときを過ごした。

新婦が、はずかしくて二度と職場に出られないんじゃないかと心配していたものの、後日お会いした時、友人も楽しかったと言われていたことを聞き、主催者として「ホッ」と胸をなでおろした次第である。ちなみに当日出席した男性陣の中で好感度No.1は、堀田会長だったそうだ。

なにはともあれ、お二人の幸多き人生に乾杯!

(種 克則)